



今回は**軽度認知障害 (MCI)** について勉強していきましょう

5人に1人が認知症になる？

厚生労働省の発表によると、2025年には65歳以上の高齢者のうち認知症の人は約700万人（**5人に1人**）に増加していくと予測されています。現代の医療は発達していますが、認知症の治療薬は、進行を一定期間防ぐ薬はあるものの、根本的な治療薬は**未だ開発中**です。認知症は一度発症してしまうと治ることはありません。大切なのは発症後の治療ではなく、**発症前の予防**が一番大切になってきます。



軽度認知障害 (MCI) って？

「**軽度認知障害**」あるいは「**MCI**」という単語を聞いたことありますか？軽度認知障害 (Mild Cognitive Impairment : MCI) は、『**認知症予備軍**』と呼ばれる状態です。

軽度認知障害は健常者と認知症の人の**中間段階にあるグレーゾーン**の状態です。正常ではないけど認知症でもない状態であり、**数年後に認知症に移行する可能性のある状態**のことです。

認知症に移行する危険性が高い状態と言えますが、MCIの人すべてが**認知症にかかるとは限りません**。

しかし軽度認知症障害の状態を放置しておくと、認知機能の低下が続き、**5年間で約50%**の人は認知症へと進行するといわれています。

認知症を発症してしまうと、**治療や投薬で進行を遅らせる**ことはできても、ほとんどの場合は**完治が難しい**のが現状です。そのため、軽度認知障害の段階で認知機能の低下に気づき、**早期に予防対策**を行うことが大切です。

65歳以上の7人中2人は、**MCI** か **認知症**



出典：厚生労働省 認知症対策総合研究事業
「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」



※厚生労働省発表の2025年の予測より作成

軽度認知障害の症状って？

軽度認知障害では、どのような症状が見られるのでしょうか。代表的な症状を挙げてみましょう。

◇昔から知っている物の名前が出てきにくい……

あれ・これ・それなど代名詞を使って話すことが増える。

◇最近の出来事を忘れることがある……

みんなで経験した共通の出来事を一人だけ忘れていることがある。

◇積極性が低下する……

好きな習い事に行くのを嫌がる、理由をつけて休もうとする。

◇雑談をしにくい……

みんなの話についていけないことがある。

◇約束を忘れる……

集合の日時を間違えることがある。

◇料理に時間がかかる……

物事の段取りが悪くなってくる。



	記憶障害	生活障害
健康な人	なし	なし
軽度認知障害	あり (小)	なし
認知症	あり (大)	あり

こうしたような症状が見られ、以前とは少し違ってきているけれども**日常生活上では特に支障のない**状態が軽度認知障害です。自分ではなかなか判断が難しいものです。気になる方は**病院での受診**をおすすめします。

病院での検査内容としては

- 『長谷川式簡易認知症スケール』と呼ばれる対面式のテスト
 - 認知機能と日常生活機能を本人や家族からの聞き取り
 - MRI（磁気共鳴画像検査）
 - CT検査（コンピューター断層撮影）
 - SPECT（脳血流シンチ）脳の血流を評価する検査です
 - PET検査（放射性薬剤を注射して脳内の機能を画像化）
- などを行い、総合的に判断していきます。



有限会社 **せがわ薬局**

石川県七尾市鍛冶町50番地

TEL 53-0810 FAX 53-3557

<http://www.segawa-pharmacy.com/>

文責：林 美樹